

令和5年度飯山市美術館運営協議会（第1回） 会議録

- 開催日 令和5年5月30日（火）午後3時30分～4時40分
○開催場所 飯山市公民館101会議室
○参集者 委員（敬称略）：廣靖彦 高山顕光 吉越隆師 篠原敦子 佐藤環 ※3名欠席
市側：松木英文（教育長） 田中良則（文化振興部長）
井端伸介（文化交流課長兼美術館長兼美術館係長） 木村友子（美術館職員）

1 開 会

2 辞令交付 教育長から委員5名に辞令交付

3 あいさつ

教育長： お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。飯山市教育長の松木英文と申します。皆様におかれましては2年間の任期の中、飯山市美術館の事業に関わりまして、前向きなご意見をお寄せいただき、より意義のある美術館運営ができるようにしていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

昨年、企画展として和紙を使った作品展「紙宮」が開催されましたが、大変現代的な工夫をされた展示となっていて、美術館の中の雰囲気というか、空気がちょっと変わった感じがしてとっても素晴らしいと思いました。また、郷土の佐藤武造さんの企画展でも、水彩画そして漆絵など様々な絵画作品が展示され、改めて佐藤武造さんの画業の素晴らしさを感じることができました。

今年度の企画展についても、来館された方々に感動を与えられるような作品展が開催できればと思っています。今日は美術館の事業報告、事業計画等についてご意見頂きますが、これからもこの美術館が市民にとっての憩いの場であり、感動の場となるよう皆様のご助言とご協力をよろしくお願いしたいと思います。以上です。

4 自己紹介 出席委員5名、市側4名それぞれから自己紹介

5 会長選出 会長として廣靖彦委員、会長職務代理として篠原敦子委員に全会員一致で決定

6 会長、会長職務代理あいさつ

会 長： 私は移住者ですが、飯山に憧れて飯山に来て良かったと今も思っております。雪以外はもう本当にいいなあと思うのですが、雪もそれでいいと思っています。今は栄中学校から依頼されて週に一回だけ中学生を相手にしております。全校生徒で30人しかおりません。そのような小さな小さなあったかい学校だと思います。大阪にいた時は、高校生の50人のクラスがだいたい10学級1学年にありましたので、それから見ると初めは理想的かなと思いましたがなかなか大変で、いろいろな個性の生徒がいるという事はお互いに刺激しあって良いも悪いもそういう人間関係ができていいのかと。ここへ来たらすごく人数が少なくて、ちょっとそのへんがしんどいと思うことがありますが、一週間に一回、とにかく緊張させてもらっています。

その他にお年寄りの教室を湯の入り荘から頼まれて、ここでは月2回やらせていただいております。わからないこともまだまだ多いと思いますが、これからもいろいろ教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

会長職務代理： 美術館のことはぜんぜん詳しくないですが、これからこの機に勉強していきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

7 協議事項 ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

(1) 令和4年度事業について（報告）

事務局：（次第と資料のとおり説明）

委員：（特に意見等無し）

(2) 令和5年度事業計画について ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

事務局：（次第と資料のとおり説明）

会長： 星野さんは私と同じ羽広山の住人で、非常に感じの良い気持ちのいい人です。是非、企画展が成功してほしいと願っております。

その他の市バスを利用した市内小中学校・高校の美術館見学の件は、美術館でも図書館でも何でもそうですが、小中学校ぐらいで一回経験しておくとう行きやすくなるのではないとかねがね思っています。大阪で高校生に教えていたとき、美術の選択者は大阪市の美術館に年1回は必ず行くという課題を出して感想文を書かせたりしていましたが、市バスを利用した美術館見学は大変良い企画ではないかと。

それから、もし出来れば、小学校でも中学校でもいいですが、夏休みの宿題の一つで例えば飯山の自然を描くとか、半強制的になると良くないかもしれませんが、そういうことが何かの機会に出来たり、小中のうちに本当は1回は美術館に足を運んでもらえたら一番いいと思いますがなかなか大変だと思います。そういう意味でこのその他に書かれていることは、実現可能な具体的な方法を考え出してもらえたらと思います。

余計な話ですが、僕が小学校4年生の時に絵の宿題が出来なくて絵の上手な父親に描ってもらった絵を学校へ持っていったところ、先生が僕の絵だけを黒板に貼りだして、人間は努力したらこんな絵が描けるようになると皆に言ったことがあり、その後は父親に描ってもらったことがばれないように図工の授業のときにはもう一生懸命でした。5年生になって転校した学校で、担任の先生から君は絵が上手いなと言われたのですが、とにかく父親に描ってもらったことがばれないようにがんばっていたことで、いつの間にかちょっとだけ人より上手くなったんだと思います。何かを一生懸命やることは、結果的に何かが生まれる可能性があるということなので、小学校、中学校の間に何か機会を与えられることは物凄く大事なことでと思いますので、美術館でこういうふういろいろな企画をしてもらえることは大変良いことだと思います。

何か全体の感想でもご意見でもありましたら、話していただきたいと思います。

委員： 事務局にお礼を申し上げたいと思います。市のバスを利用した美術館見学は、是非、各小中学校の先生方にもお願いをしながら前に進んでもらえればと思います。もう一点ですが、地域おこし協力隊の関係はどのくらい今に進んでいますか。

事務局： 今、市役所の事業戦略課の職員がそれを取りまとめており、何人かまとまった数の募集する中のひとつとしてエントリーできた状態で、募集してもらえる方向で進んでいます。

教育長： 上手くマッチングすれば良いのだが。

事務局： 学校からの見学につきましても、今、ちょうど話をおこして相談もさせていただいていますが、来年度以降も市バスを利用した美術館見学が可能だということが先生方にわかっていたいただければ、予定の中に組んでいただける可能性も高くなってくると思うので、是非そのように進めたいと思います。

教育長： 特にこの岩上隆静展は、飯山市内の町並みを描いた風景画が多いので、ここはもしかしたら自分の家の近くかもしれないとか、行ったことがあるかもしれない、あそこからこんな風景見たなとか、そういったことが話題になる中で見学に来たら井端さんなり職員の方がここはあその地で、あなた方の学校の近くだよねとか、そのような話をしながら見てもらおうと、さらにじっくり観てもらえると思う。そのような仕掛けをすることで、美術館へ行ってこうやって観るのって楽しいなっていう思いを少しでも感じてもらえればいいと。そうすると廣先生が最初に話された思いにも通じてくるんじゃないかなと思います。またそういうことをしっかりと学校と協力してやってもらえればありがたいです。

(3) 令和6年度以降の企画展等について ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

事務局： (次第と資料の話してとおり説明)

会 長： 本日の議題は大体終えられたと思いますが、その他に何か日頃から感じてられてることやご意見ご希望などがあればおっしゃっていただけたらと思います。無いようでしたらこれで会を終わらせていただいてよろしいでしょうか。

委 員： (一同了承)

(4) その他 ※特になし

8 その他 ※特になし

9 閉 会